

## 平成30年度 第1回江南警察署協議会議事概要

開催日時	平成30年6月21日(木) 午後4時から午後5時30分まで		
開催場所	江南警察署講堂		
出席者	委員 (定数10人)	丸山会長 大沢副会長 小柳委員 川又委員 倉嶋委員 藤野委員  (会長・副会長以下50音順)	計6人
	警察	五十嵐署長 松川副署長 高澤警務課長 平井会計課長 川上生活安全課長 三留地域課長 蝶名林刑事課長 小田交通課長 警備課長	計9人

### 管内の治安情勢

署長から、平成30年5月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

### 委嘱状の交付

藤野委員が署長から委嘱状の交付を受けた。

### 前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

#### 1 犯罪抑止対策の推進

##### (1) 特殊詐欺被害防止対策の推進

- 特殊詐欺の具体的な手口を示すなど被害防止に直結する分かりやすい防犯指導を推進した。
- 高齢者を取り巻く関係機関・団体と連携した広報啓発活動の推進した。
- 通話録音装置等の迷惑電話防止機器の普及を促進した(ニセ電話に出ないで被害ゼロ)。
- 金融機関・コンビニエンスストアを始めとする関係事業者と連携した水際対策を推進した。

##### 【主な活動】

- ・ 4/20 猟銃検査会場における特殊詐欺被害防止広報
- ・ 4/22 観桜会会場における安全講話
- ・ 4/26 特殊詐欺被害防止推進委員の委嘱式・研修会

## (2) 侵入盗対策の推進（施錠率の向上）

- 防犯講習や巡回連絡等の戸別指導を通じた被害現状及び無施錠率の周知による鍵かけ意識の向上を図った。
- ひかるくん・ひかりちゃん安心メール、県警ホームページ、所管区広報紙等を活用した情報の発信を行った。
- 公共空間における街頭防犯カメラの設置促進に向けた働きかけを推進した。

### 【主な活動】

- ・4/9, 11 新学期における自転車盗難被害防止広報(JR亀田駅)
- ・4/27 少年警察ボランティアによる広報活動
- ・5/13 イベント会場における来場者への広報活動

## (3) 子供・女性などの犯罪被害者等の防止対策の推進

- 西区における小学児童殺人・死体遺棄事件の発生に伴い、交番等によるパトロールのほか、特別体制による警戒活動を実施した。
- 教育委員会、学校等と連携した児童・生徒対象の前兆事案の早期把握と被害の拡大防止を図るための情報発信を行った。
- 法令違反行為の確実な検挙措置と法令違反に至らない場合における指導・警告措置を推進した。

### 【主な活動】

- ・5/1 スクールサポーターによる中学生保護者対象の安全教室の開催
- ・5/28 母子生活支援施設における不審者対応訓練
- ・5/29 江南地区学校警察等連絡協議会の開催

## 2 交通秩序の確立(飲酒運転の根絶)

### (1) 交通指導取締りの推進

- 交通課員及び地域課員が幹線道路を中心とした飲酒運転取締りのミニ検問を強化した。検問時においては、運転者に対して「飲酒運転根絶」を呼びかけ、効果が上がるよう実施した。
- 交通機動隊と連携して交通指導取締りを強化した結果、人身事故件数が減少した。

人身事故～ 82件（前年比－13件）

### (2) 歩行者の交通事故防止対策の推進

- 歩行者事故防止を図るため「横断歩行者等妨害違反」の指導取締りを推進した結果、歩行者事故が減少した。

人対車両～ 6件（前年比－10件）

- 事業所における講習、交通安全教室、高齢者家庭訪問指導等において、高齢歩行者事故防止広報を実施した。

運転者に対しては、横断歩行者保護意識の向上、高齢者に対しては、安全な道路横断と夜光反射材の活用について広報を実施した。

講習・交通安全教室～20回（815人）

高齢者家庭訪問～ 406世帯（483人）

- 幼児、小学生・中学生に対する交通安全指導を実施した。

幼児、小学生～ 4回（824人）

中学生 ～ 2回（301人）

### (3) 広報・啓発活動の推進

- 交通安全協会支部長会議・理事会・総会、安全運転管理者協会臨時総会、交通安全母の会総会において広報を実施した。

- 「春の全国交通安全運動」において、江南区・江南地区交通安全協会・母の会等と協働した交通安全広報を実施した。

**【主な活動】**

- ・ 4/5 祈願祭～亀田諏訪神社、その後、アピタでチラシとお守りを配布
  - ・ 4/6 出発式～亀田駅構内でチラシとお守りを配布
  - ・ 4/10 優秀運転者表彰～署講堂で実施
  - ・ 4/10 早朝街頭広報～両川地区にて実施
  - ・ 4/13 早朝通学路取締り～交通機動隊と共同で早通小学校付近で実施
  - ・ 4/13 反射材貼付作戦～三九の市にて実施
- アスパーク祭りにおける交通安全広報を実施した。

**(4) その他（緊急シルバーゾーン対策の実施）**

5月3日、午後1時50分ころ、江南区横越中央地内の大型ショッピングセンター駐車場内において、通路を横断中の高齢歩行者が被害となる死亡事故が発生したことから、5月13日までの10日間、緊急対策を実施した。

- 交通指導取締り・街頭活動（赤ランプ作戦）を強化した。
- 高齢者家庭訪問を強化した。
- 大型店舗の店内放送による交通事故防止広報を依頼した。
- たけのこフェアにおける交通事故防止広報を実施した。

**諮問**

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

**1 犯罪抑止対策の推進**

**(1) 特殊詐欺被害防止対策の推進**

県内における架空請求詐欺被害は、今年1月から5月にかけて増加傾向にあり、新潟市で約800件、県内で約2,400件のハガキが郵送されている。当面の間、「被害抑止3本柱対策」として、

- ・ 「犯人から電話を受けないための対策」
- ・ 「だまされないための対策」
- ・ 「だまされたとしても犯人に金を渡さないための対策」

の諸対策を推進し、管内での発生を抑止する。

**(2) 侵入盗対策の推進（施錠率の向上）**

侵入盗の手口は、「忍び込み」と「空き巣」でほぼ全体を占めている。また、侵入手段は、無施錠のドアや窓からの侵入が約75%を占めている。侵入盗は住民の身近な犯罪であるし、凶悪犯に発展する可能性もあることから、引き続き関係機関やボランティア等と連携し、

- ・ 鍵かけに対する意識を高揚させるための効果的な情報発信
- ・ あらゆる機会を活用した広報啓発活動
- ・ 街頭防犯カメラ設置拡充に向けた働き掛け

を推進し、鍵かけ意識の高揚と習慣化を図るとともに抑止対策を推進する。

**(3) 子供・女性の犯罪被害防止対策の推進**

通学路等における子供の犯罪被害防止対策として

- ・ 不審者情報の迅速な把握と情報の共有化
- ・ 関係機関・団体、地域住民等との連携による予防対策
- ・ 子供に対する被害防止教育

を重点として関係機関・団体、保護者、地域住民等との連携を強化して各種対策

を推進する。

## 2 交通事故防止対策の推進

### (1) 交通指導取締りの推進～飲酒運転の根絶

飲酒運転による人身事故がいまだに発生していることから、

- 幹線道路におけるミニ検問
- 飲酒運転情報による取締り

を強化し、飲酒運転の根絶を図る。

※ 「速度等取締り指針」に基づいた取締りを推進する。

### (2) 歩行者の交通事故対策の推進

夏の交通事故防止運動における、重点項目「飲酒運転の根絶・疲労運転の防止横断歩行者の保護」に沿った事故防止対策を推進するほか、秋の全国交通安全運動における、重点項目に沿った事故防止対策を推進する。

### (3) 交通事故防止広報・啓発活動の推進

あらゆる機会、媒体を利用した広報啓発活動を推進し、交通事故防止を図る。

特に高齢者事故防止と飲酒運転の根絶に重点を置いた広報を推進する。

## 諮問に対する意見・質疑等（○は署長等の説明）

### 1 特殊詐欺の被害の届け出が実際よりも少ないのは何故なのか。

- 「被害に遭ったことが家族に知られたくない。」とか「騙されたことが他人に知られるのが恥ずかしい。」などの意識が被害の届け出が少なくなる理由だと思われまます。

### 2 未払い料金にかかる架空請求詐欺のハガキを見せてもらい非常にためになった。この件について署で報道発表して広報したと聞いたが、今後も住民に対して注意喚起していただきたい。

- 住民の不安を少しでも解消し、被害に遭わないよう今後も広報を実施します。

### 3 侵入窃盗の認知件数が多くなっているが、概要はどのようになっているのか。

- 空き家を対象とした侵入窃盗です。現在、検挙すべく鋭意捜査中です。

### 4 下校途中に女子高校生を対象としたつきまといがあったと聞いたが、状況について説明していただきたい。

- 自転車で帰宅途中の生徒が自動車に追いかけられた事案ですが、車両のナンバーがわからず、捜索しましたが発見に至っておりません。数日後、自転車で帰宅途中の同じ生徒が自動車に追いかけて、コンビニエンスストアに逃げ込んだところ、行為者も同ストアに入ってきたのですが、捜査した結果、行為者は同ストアで知人と待ち合わせをしていて入店したことが判明し、容疑がなかったことがわかり、生徒の不安を解消することができました。

## 答申

質疑の後、江南警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

## 意見・要望・質疑等

大江山地区では、通学路で全長約500メートルもあるたんぼ道となっている危険箇所もあり、住民も気にしており不安に感じている。地域としても関係機関・団体、警察とともに「こどもの見守り活動」を継続していきたいのでよろしくお願いいたします。

○ こちらこそよろしくお願いいたします。

### 速度等取締り指針の策定等

署長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

#### 【協議会開催状況】



(委嘱状の交付状況)



(協議会の状況)